

11/14

# 16日 林千云部隊を殲滅し 羽田へ進撃せよ!

70年を目前にひかえ、11月決戦の火ぶたは切っておとされた。13日は八百人もの市大隊列を含む、3万人の市民、労働者、学生が隅町に結集した。他の党派は昨日の手モとケリラにもならぬケリラを行い、お茶室にこもってしまおうとした。このことは日本階級斗争史上、一大事件となるであろう。16~17日羽田現地大決戦を目前にする以外、何ものでもない。11.16までに無内容なケリラ等を破壊してしまふ党派はともすればや問題にならぬ。むしろ羽田現地大決戦に参加することなしに縮減退却を志すも、そのような党派はもはや革命的左翼と名のることはできぬ。とに反し、11.16~17の大決戦抜きにアロシケートの勝利はありえない。真正大決戦を争い抜く我々中核軍団のみが70年代への道を切り開くのである。そのために我々党がなされるようなことなあって我々はあえてそれをもいとわぬ。もしジョージに自らの身をま

なせるな、それとも自らの手で70年代の階級斗争の道を切り開くのだ、道は二つに一つしかない。自らの手で道を切り開く人とする者は、直ちに退却して東京へ結集し、羽田へ向いて怒りの進撃をくりぬけよ。その時には我々中核軍団が先頭となる。その敵軍のセン兵たるマルチを殲滅し、弁天橋を渡り、羽田への道を切り開くであろう。当日は羽田への道はすべてロックアウト体になし、羽田丘くまで到達するのにも容易でなろう。しなして何干口歩いて羽田へきてほしい。我々中核軍団の切り開いた道を、万衆の武装する市民、労働者、学生の軍団で埋めつくし、羽田を包圍する艦隊軍とびたててほしい。飛びたつても一度と佐よ及帰ってこれはいかぬをつくし出そう! 万衆の武装軍団で首都陣営、羽田占拠に向け、直ちに出發せよ!

## 中核軍団